

平成 26 年度 日本腰痛学会評議員会議事録

日時 平成 27 年 11 月 13 日(金) 17:00~18:00

会場 JP タワーホール&カンファレンス 4 階

議長：紺野慎一 理事長

I. 会長挨拶

山縣正庸会長より、評議員会開催にあたり、挨拶があった。

議事

II. 報告事項

1. 庶務報告 事務局二階堂、紺野慎一理事長より報告

1) 平成 26 年度事業報告

(1) 学術集会の開催

第 23 回学術集会在平成 27 年 11 月 14 日(土)、15 日(日) の 2 日間

JP タワーホール&カンファレンス(会長 山縣正庸先生)で開催予定である。

(2) 委員会の開催

平成 27 年 11 月 13 日 理事会、評議員会、11 月 15 日編集委員会が開催予定である。

(3) 学会誌の発行

平成 27 年 6 月 25 日に JSR 第 6 巻 6 号を発行した。投稿論文数は 22 編で 18 編が掲載された。内容は一般投稿 12 編、学会の主題からの特集 6 編であった。

(4) 会員の動向

平成 27 年 11 月 1 日現在の正会員数は 931 名、うち名誉会員 14 名、特別会員 11 名、新入会者 66 名である。退会者は 61 名で、物故会員 1 名 内田研造先生(平成 27 年 10 月 17 日ご逝去)、賛助会員は 14 社である。

2. 腰痛診療ガイドライン改訂版策定委員会について

白土修委員長から、腰痛診療ガイドライン改訂版を作成するにあたり、委員選定を行ったことが報告された。

III. 審議事項 事務局二階堂、紺野慎一理事長より報告

1. 平成 26 年度収支決算・監査報告

配付資料に基づき決算報告、会計監査が報告され、承認された。

2. 平成 26 年度事業計画案

学術集会開催、学会誌発行、委員会開催予定および予算案が提出され、承認された。

1) 第 24 回学術集会の開催

会長 波呂浩孝先生（山梨大学大学院総合研究部整形外科学講座）

日時 平成 28 年 9 月 2（金），3 日（土）予定

場所 甲府富士屋ホテル（山梨県甲府市）

2) 学会誌発行 JSR 第 7 巻 6 号

平成 28 年 6 月 予定

3) 委員会の開催

評議員会、理事会：平成 28 年 9 月開催

編集委員会：平成 28 年 9 月開催

腰痛診療ガイドライン改訂版策定委員会適宜開催

3. 平成 27 年度予算案

配付資料に基づき予算案報告がなされ、承認された。

4. 次々々期会長選出

松山幸弘先生（浜松医科大学）が推薦され承認された。

5. 役員・評議員の推薦

名誉会員に四宮謙一先生（横浜市立みなと赤十字病院）、馬場久敏先生（SICOT 外傷医学マケレレ教育センター・ウガンダ）が推薦され承認された。

特別会員の推薦はなかった。

理事に大川淳先生（東京医科歯科大学）、田口敏彦先生（山口大学）、徳橋泰明先生（日本大学）、松山幸弘（浜松医科大学）、山下敏彦（札幌医科大学）が推薦され承認された。

評議員に青木保親先生（東千葉メディカルセンター）、伊藤茂彦先生（岐阜県立多治見病院）、井上玄先生（北里大学）、今釜史郎先生（名古屋大学）、岩渕真澄先生（福島県立医科大学会津医療センター）、牛田亨宏先生（愛知医科大学医学部学際的痛みセンター）、尾形直則先生（愛媛大学）、小澤浩司先生（東北大学）、加藤義治先生（東京女子医科大学）、西良浩一先生（徳島大学）、酒井大輔先生（東海大学）、高相晶士先生（北

里大学)、高橋淳先生(信州大学)、田中信弘先生(広島大学)、田中雅人先生(岡山大学)、千葉一裕先生(防衛医科大学)、豊根知明先生(昭和大学)、永島英樹先生(鳥取大学)、中村雅也先生(慶應義塾大学)、二階堂琢也(福島医大)、根尾昌志先生(大阪医大)、橋本淳一先生(山形大学)、長谷川徹先生(川崎医大)、播広谷勝三先生(九州大学)、松本守雄先生(慶應義塾大学)、三上靖夫先生(京都府立医大)、山崎正志先生(筑波大学)、吉田宗人先生(和歌山県立医大)、和田簡一郎先生(弘前大学)が推薦され承認された。

6. 役員・評議員の辞任

四宮謙一先生、馬場久敏先生が理事を辞任されること、内田研造先生が評議員を辞任されることが報告され承認された。

7. 会員の推薦

遠藤達矢理学療法士(福島県立医科大学会津医療センター)、小俣純一理学療法士(同)、高島弘幸診療放射線技師(札幌医科大学附属病院)、葉清規理学療法士(浜脇整形外科リハビリセンター)が推薦され承認された。

8. 賛助会員の推薦

昭和薬品化工株式会社、久光製薬株式会社の2社が賛助会員に推薦され承認された。

9. 任期満了に伴う監事・編集委員の交代報告

監事の中井修先生(九段坂病院)、久野木順一先生(日本赤十字医療センター)の任期満了に伴って辞任されることが承認された。新監事として、鳥畠康充先生(厚生連高岡病院)、金山雅弘先生(函館中央病院)が推薦され承認された。編集委員の菊地臣一先生、元文芳和先生、馬場久敏先生、星野雄一先生、内田研造先生が辞任されることが承認された。新編集委員として、遠藤健司先生(東京医大)、松平浩先生(東京大学医学部附属病院22世紀医療センター)、渡辺雅彦先生(東海大学)の就任が報告され承認された。

10. 優秀論文賞の報告

18編の論文について、選考委員による厳正な審議の結果、新潟中央病院リハビリテーション部の袴田 暢先生の論文“下垂足を呈した腰椎変性疾患の股関節外転筋力は低下する”に決定したことが報告され承認された。

11. 法人化に向けての定款と内規案について

定款と内規案について、事前に理事と評議員に送付し、意見を集積した。標記のゆれについて修正したこと、第10条の功労会員を特別会員に修正したことが報告された。第21条 議決権の代理行使について一人が複数名の代理人として出席した場合は、正常な議論と言えないとの指摘があったが、条文は脊椎脊髄病学会と同一の文言であり、その

まま適用することが報告された。学会を続けて欠席している役員への対応に関する条文を加えるという意見があったが、欠席している役員はほとんどいないため、条文は加えないことに決定した。

12. 法人化のスケジュールについて

事前に公証人に定款案について問題ないことを確認していただいた。今回の理事会、評議員会、総会で定款案の最終承認を受けた後、設立時の必要書類をそろえて手続きをすすめることが承認された。

13. その他

特になし

IV. 次期会長挨拶

第24回日本腰痛学会会長の波呂浩孝理事が、平成28年9月2日、3日に甲府富士屋ホテルで開催予定であること、テーマを「腰痛への集学的アプローチ」としたことを報告した。

第25回日本腰痛学会会長の大川淳先生から平成29年11月3日、4日に品川コンファレンスセンターで開催予定であることが報告された。